

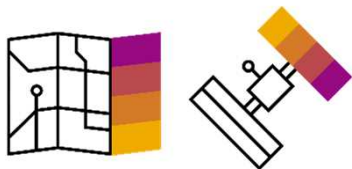
先端技術を活用した新たな防災・減災プラットフォーム構築プロジェクト

- ・近年、自然災害が多発しており、その対策として、多様な防災・災害関連の情報が提供されるようになったものの、情報共有の仕組みやリスク分析・防災教育に至るまでの高度な活用が進んでいない。
- ・過去の災害データや地域の固有情報等の分散している各種データの集約・統合、データをAI解析し、被害予測に基づいた迅速な調査や防災教育など、防災・減災に関する様々なサービスが生まれ活用されることを目指すプラットフォームを構築する。

防災・減災のための情報活用プラットフォーム（一元化）

【構想図】

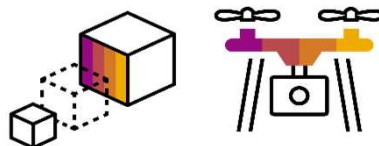
情報の集約・分析・評価



<事前対応>

国土地理院、気象庁、国土交通省、
地方自治体等の保有するデータに加え、
ドローンで撮影した3D画像の解析
データ、連携する企業の情報を集約
及び統合
AI解析によるリスク評価・被害予測

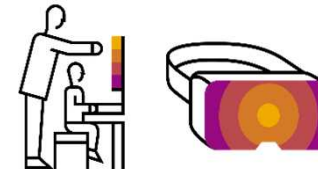
ドローンデータの集約・ 三次元データ利用



<災害対応>

動画情報、画像情報の集約と共有
ドローンデータの三次元化

データコンテンツによる 防災教育



<防災教育>

リスク評価や3Dデータ等の
データコンテンツを活用した
地域での防災教育を実施

防災・減災に関する新たなビジネスやサービスの展開

事業実施主体
(コンソーシアム構成員)

(株) ザイナス (大分市)、大分大学減災・復興デザイン教育研究センター (CERD)、
SAPジャパン (東京都)